

平成30年度 一人一人の確かな学力のために 3年

		学年の目標	2学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着(まとめの50問テスト90点以上を8割以上)を目指します。そのために、小テストを週1回程度行い、間違えは必ず直す習慣を付けさせます。 国語辞典を正しく引く力や習慣を付けます。そのために、必要なときにすぐ辞書を手に取れるような環境をつくります。 相手や目的に応じて内容が正しく伝わるように、主語述語、段落相互の關係に注意して文章を書く能力を付けさせます。そのために、日記を利用して気付いたことを書く習慣を付け、文章を読み合う時間を取るようになります。 	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の小テストを定期的に行い、間違い直しをおこなってきましたが、50問テストでは、90点以上は5割ほどにとどまってしまうました。毎日の練習に力を入れていきます。 国語辞典を引く時間が早くなりました。 日記を利用して気付いたことを書くようになりましたが、文章を読み合う時間を取れず、書く能力が向上しているとは言えません。今後は、時間をとるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 週1回小テストを行い、テスト直しをすることで、漢字練習の意識が高まり、小テストでは90点以上の児童が7割以上になりました。 国語辞典を素早くひけるようになりました。 友達が書いた文章を読み合う時間を取り、わかりやすく伝えることを意識して読んだ人に意味が伝わるように書くことができました。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 四則計算の定着(単元末テストで90点以上を8割以上)を目指します。そのために、計算ドリルを家庭学習で取り組ませたり、補習で東京ベーシックドリルを使い、習熟を図ります。支援が必要な児童には、個別指導を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> テストは90点以上は4割ほどにとどまりました。今後、授業の中でも、十分練習問題を行い、補習の時間に計算ドリルやベーシックドリルを使ってより充実させたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して、既習事項を使って自分の考えを書ける児童が増えてきました。まだ、かけ算の筆算などでは、九九やたし算の基本的な間違いが見られます。計算ドリル・家庭学習を十分行い、さらに習熟させたいと思います。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 読書量を増やします。そのために、朝読書の時間、給食時間などを活用し、本に親しむようにさせます。教科で関連した本を紹介したり、マイブックでいつでも本を読めるようにしたり、読書環境を整えます。読書貯金箱(読書カード)に記録し、年間で5000ページの目標を与え、随時振り返りをし到達度を確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書や空いた時間などを使って読書に親しんでいます。総合や読書科で、図書室で調べ学習に進んで取り組むことができました。 マイブックは100%持っており、読書に進んで取り組んでいます。年間で5000ページの目標達成は 現在9人です。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書科では、自分で課題を見つけ、調べ学習に取り組むことができました。 朝読書、自習時間などを活用し、集中して読む習慣が付いています。読書貯金箱(読書カード)に記録し、目標達成は今のところ13人ですが、年間で5000ページの目標に向けて最後まで頑張っています。
思考力・判断力・表現力	思考力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題解決をする児童を目指します。そのために、授業のはじめにめあてを明確にし、見通しをもって学習に取り組めるようにします。課題解決の流れが分かるようにノート指導を行います。授業の終わりには、児童が、自分の言葉でまとめられることを目指します。 自分の考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、考える時間を十分確保したり、小グループで話し合い活動を行ったりします。友達の意見を受けながら考えを発表している児童を賞賛し、学び合う力が身に付くようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のめあてをしめし、課題を的確に理解し、めあてに向かって学習に取り組んでいます。 伝え合う時間を取ることで、自分の考えを自信を持って発表できるようになってきています。うまく伝えられない児童には、友達の発言の仕方の良いところを示すなどして広げていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のめあてをしめし、課題を的確に理解し、めあてに向かって学習に取り組んでいます。 自分の考えを友達に伝え合う時間を取ることで、自分の考えも固まったり、友達の考えを聞いて新しい発見があったり、考えを深めることができました。
	学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の時間を、毎日45分間(15分×3年生)取り組むことを目指します。そのために、児童の実態に応じて自主学習を推奨したり、模範となる児童の取り組みを紹介し、参考できるようにします。 家庭学習の提出率を毎日95%以上目指します。そのために、未提出児童には声掛けをおこなったり、児童の実態に応じて休み時間や放課後に指導したりします。 話す・聴く態度を意識できるようにします。そのために、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手を見てだまって最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習週間では、目標の45分間は8割ほどの児童が取り組みました。 宿題は、毎日9割提出しています。文字が間違っただけだったり、雑だったりするので指導していきます。 8割の児童が話す聞く態度が意識できています。できている児童を褒め価値付けしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習期間では、目標の45分間は8割ほどの児童が取り組むことができ、自主学習も漢字計算だけでなく、調べ学習をしたり試写をしたり工夫していました。 宿題は、毎日9割以上提出しています。まだ、文字が間違っただけだったり、雑だったりするので指導していきます。 8割の児童が話す聞く態度が意識でき、集中して学習できています。